



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月2日

上場会社名 エヌアイシ・オートテック株式会社
 コード番号 5742 URL <http://www.nic-inc.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 西川浩司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長

(氏名) 藤井透

TEL 076-425-0738

四半期報告書提出予定日 平成30年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	6,891	16.7	817	45.2	820	47.2	538	49.8
29年3月期第3四半期	5,905	37.0	563	64.5	557	62.8	359	64.2

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 604百万円 (48.6%) 29年3月期第3四半期 406百万円 (116.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	98.85	
29年3月期第3四半期	65.98	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	8,429	4,511	53.5
29年3月期	7,214	4,157	57.6

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 4,511百万円 29年3月期 4,157百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		30.00	30.00
30年3月期		16.00			
30年3月期(予想)				21.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日公表の「平成30年3月期 通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,142	13.0	950	14.1	948	13.7	629	14.0	115.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日公表の「平成30年3月期 通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	5,500,000 株	29年3月期	5,500,000 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	51,371 株	29年3月期	51,274 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	5,448,642 株	29年3月期3Q	5,448,759 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. その他	10
(1) 受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米欧などの先進国を中心に堅調さを維持し、企業業況及び雇用環境の改善等によって個人消費も高い水準で推移いたしました。一方、わが国経済は、近隣諸国における地政学リスクが存在するものの、世界経済同様に、生産活動の改善等によって雇用環境や企業収益は緩やかに回復し、堅調に推移いたしました。

このような状況のもと、当社ではF A装置（F A : Factory Automation/「自動化・省力化装置」をいう。）及びロボット関連機器等に使用される主力製品「アルファフレームシステム」の売上高は順調に推移し、有機E LやL C Dといったフラットパネルディスプレイ（以下、「F P D」という。）製造関連企業からの受注も高水準を維持いたしました。また、F A装置においては、国内外の自動車部品製造企業向け洗浄装置や検査装置、F P D製造関連企業向けの大型カスタムクリーンブース等、堅調に受注を確保いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、6,891百万円と前年同四半期と比べ985百万円（16.7%）の増収、営業利益は、817百万円と前年同四半期と比べ254百万円（45.2%）の増益、経常利益は820百万円と前年同四半期と比べ263百万円（47.2%）の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、538百万円と前年同四半期と比べ179百万円（49.8%）の増益となり、連結決算となつてから第3四半期連結累計期間の売上高及び各利益は、2期連続で最高を更新する結果となりました。

なお、前連結会計年度に掲げた中長期経営計画の一環として、装置事業の拡大を担う重要な拠点として開設した立山事業所（富山県中新川郡立山町）と、関東を中心とした東日本のお客様へのサービス向上及び海外のお客様からのニーズにも迅速にお応えできる体制構築の一環として開設したアルファフレーム北関東（埼玉県児玉郡神川町）は、ともに2017年7月より順調に稼働しております。

また、前述の施策に加えて、管理部門と生産部門の連携強化による業務効率化を図るため、現在の富山本社（富山県富山市清水元町）を流杉工場（富山県富山市流杉）へ移転し、本店所在地を変更するとともに現在の富山本社の土地・建物を売却することを2017年12月に決定しております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

[アルファフレーム部門]

アルファフレーム部門におきましては、設計サポートサービス「カクチャ™」及び組立作業の省力化を可能とする「マーキングシステム™」を活用し、アルミニウム合金製構造材の付加価値を高めることで、競合他社と差別化を図った提案営業を継続的に展開いたしました。

これによって、「カクチャ™」及び「マーキングシステム™」を活用される企業からの案件は、安定して受注確保に至っております。また、F P D製造設備関連企業及び半導体製造設備業界からの受注は、順調に推移いたしました。

この結果、当部門の売上高は4,242百万円（前年同四半期比122.9%）となりました。

[装置部門]

装置部門におきましては、引き続き当社の技術力を活かした質の高いF A装置の提案活動を推進し、自動車部品製造企業向けの洗浄、検査、試験等の単体設備及びF P D業界向けクリーンブース案件を受注いたしました。これにより、当第3四半期連結累計期間の業績は堅調に推移しております。また、今後の受注状況も順調に推移する見込みであります。

この結果、当部門の売上高は1,599百万円（前年同四半期比97.4%）となりました。

[商事部門]

商事部門におきましては、主要顧客より安定的に工業用砥石、油脂類等の消耗品関係の受注を確保いたしました。また、機械設備関係では、複数の主要顧客より大口案件を受注し、売上高が伸びました。この機械設備関係については、今後も受注、売上高ともに順調に推移するものと見込んでおります。

この結果、当部門の売上高は1,048百万円（前年同四半期比129.2%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前期末と比べ1,214百万円増加し、8,429百万円となりました。これは主に、現金及び預金が233百万円、電子記録債権が907百万円、商品及び製品が242百万円、仕掛品が231百万円、建物（純額）が677百万円、それぞれ増加した一方で、受取手形及び売掛金が998百万円減少したことなどによります。

負債は前期末と比べ860百万円増加し、3,917百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が219百万円、電子記録債務が231百万円、短期借入金が200百万円、長期借入金が660百万円、それぞれ増加した一方で、設備関係支払手形が270百万円、未払法人税等が93百万円、それぞれ減少したことなどによります。

純資産は、前期末と比べ353百万円増加し、4,511百万円となりました。これは主に、配当金の支払い250百万円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上538百万円があったことにより、利益剰余金が287百万円増加したことや、その他有価証券評価差額金の増加58百万円があったことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前期末と比べ233百万円増加し、542百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の292百万円のキャッシュ・インに対し、407百万円のキャッシュ・インとなりました。これは税金等調整前四半期純利益の計上による資金の増加820百万円や仕入債務の増加による資金の増加450百万円などの資金の増加があった一方で、たな卸資産の増加による資金の減少595百万円や法人税等の支払いによる資金の減少352百万円があったことなどが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の147百万円のキャッシュ・アウトに対し、786百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは新たに開設した立山事業所を含む有形固定資産の取得による支出が780百万円あったことなどが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の75百万円のキャッシュ・インに対し、610百万円のキャッシュ・インとなりました。これは短期借入金の純増額が200百万円、長期借入金による収入が660百万円あった一方で、配当金の支払いによる支出が249百万円あったことなどが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日付の「平成29年3月期決算短信（連結）」にて公表いたしました業績予想値を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成30年2月2日）公表いたしました「平成30年3月期 通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	308,801	542,545
受取手形及び売掛金	2,427,361	1,428,716
電子記録債権	896,779	1,804,375
商品及び製品	189,934	432,544
仕掛品	438,044	669,505
原材料及び貯蔵品	329,197	452,609
その他	81,775	88,507
貸倒引当金	△323	△287
流動資産合計	4,671,571	5,418,515
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,874,863	2,602,703
減価償却累計額	△1,169,626	△1,219,785
建物及び構築物（純額）	705,237	1,382,918
土地	535,874	535,874
その他	1,090,210	855,727
減価償却累計額	△517,019	△559,346
その他（純額）	573,190	296,381
有形固定資産合計	1,814,303	2,215,174
無形固定資産		
その他	58,093	49,261
無形固定資産合計	58,093	49,261
投資その他の資産		
その他	672,771	747,759
貸倒引当金	△1,781	△1,650
投資その他の資産合計	670,990	746,109
固定資産合計	2,543,387	3,010,545
資産合計	7,214,958	8,429,061

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	928,466	1,147,833
電子記録債務	845,546	1,077,022
設備関係支払手形	270,000	—
短期借入金	—	200,000
1年内返済予定の長期借入金	38,000	76,000
未払法人税等	220,755	127,266
賞与引当金	99,964	88,557
製品保証引当金	1,462	1,566
その他	299,171	229,400
流動負債合計	2,703,367	2,947,645
固定負債		
長期借入金	62,000	684,000
退職給付に係る負債	192,606	190,967
その他	99,837	95,349
固定負債合計	354,444	970,316
負債合計	3,057,811	3,917,961
純資産の部		
株主資本		
資本金	156,100	156,100
資本剰余金	145,608	145,608
利益剰余金	3,782,177	4,070,170
自己株式	△34,529	△34,723
株主資本合計	4,049,356	4,337,156
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96,538	155,116
為替換算調整勘定	10,773	18,397
その他の包括利益累計額合計	107,312	173,514
非支配株主持分	478	429
純資産合計	4,157,147	4,511,099
負債純資産合計	7,214,958	8,429,061

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	5,905,628	6,891,135
売上原価	4,468,663	5,138,734
売上総利益	1,436,965	1,752,401
販売費及び一般管理費	873,688	934,643
営業利益	563,276	817,757
営業外収益		
仕入割引	4,175	5,678
受取保険料	700	—
その他	783	1,647
営業外収益合計	5,658	7,326
営業外費用		
支払利息	331	2,693
手形売却損	113	100
電子記録債権売却損	477	56
為替差損	9,609	1,490
その他	911	54
営業外費用合計	11,444	4,394
経常利益	557,491	820,689
税金等調整前四半期純利益	557,491	820,689
法人税、住民税及び事業税	226,125	270,224
法人税等調整額	△28,139	11,891
法人税等合計	197,985	282,116
四半期純利益	359,505	538,572
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△14	△60
親会社株主に帰属する四半期純利益	359,519	538,632

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	359,505	538,572
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,679	58,578
為替換算調整勘定	12,751	7,634
その他の包括利益合計	47,430	66,212
四半期包括利益	406,936	604,785
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	406,936	604,834
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△49

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	557,491	820,689
減価償却費	97,395	130,712
貸倒引当金の増減額(△は減少)	61	△166
賞与引当金の増減額(△は減少)	75,815	△11,407
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△31	104
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	17,734	△1,638
受取利息及び受取配当金	△446	△456
支払利息及び手形売却損	922	2,850
売上債権の増減額(△は増加)	△559,768	91,444
たな卸資産の増減額(△は増加)	△196,639	△595,123
仕入債務の増減額(△は減少)	439,031	450,475
未収消費税等の増減額(△は増加)	14,646	△78,890
為替差損益(△は益)	6,602	△2
その他	74,997	△46,153
小計	527,814	762,435
利息及び配当金の受取額	268	263
利息の支払額	△922	△2,850
法人税等の支払額	△235,057	△352,446
営業活動によるキャッシュ・フロー	292,102	407,403
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△137,755	△780,242
無形固定資産の取得による支出	△5,778	△880
投資有価証券の取得による支出	△3,600	△3,600
その他	△820	△1,904
投資活動によるキャッシュ・フロー	△147,954	△786,626
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	200,000
長期借入れによる収入	—	660,000
自己株式の取得による支出	—	△193
配当金の支払額	△124,984	△249,422
財務活動によるキャッシュ・フロー	75,015	610,383
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,214	2,583
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	222,378	233,743
現金及び現金同等物の期首残高	252,781	308,801
現金及び現金同等物の四半期末残高	475,159	542,545

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

該当事項はありません。

3. その他

(1) 受注及び販売の状況

① 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
アルファフレーム部門	4,212,266	99.7	1,621,266	107.4
装置部門	1,436,163	86.4	398,715	114.4
商事部門	1,366,471	176.5	463,975	318.8
合計	7,014,901	105.3	2,483,957	124.0

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

② 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
アルファフレーム部門	4,242,816	122.9
装置部門	1,599,944	97.4
商事部門	1,048,374	129.2
合計	6,891,135	116.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。